

自主調査結果のご案内
～ スマートフォン利用意識調査 ～

合同会社 サーベイマイ
2011年11月

調査概要

対象国: 中国、インドネシア

対象者条件: スマートフォンを保有している18歳以上の男女、
男女比がほぼ均等になるように回収

質問数: 20問

回収数: 中国 N=149
インドネシア N=136

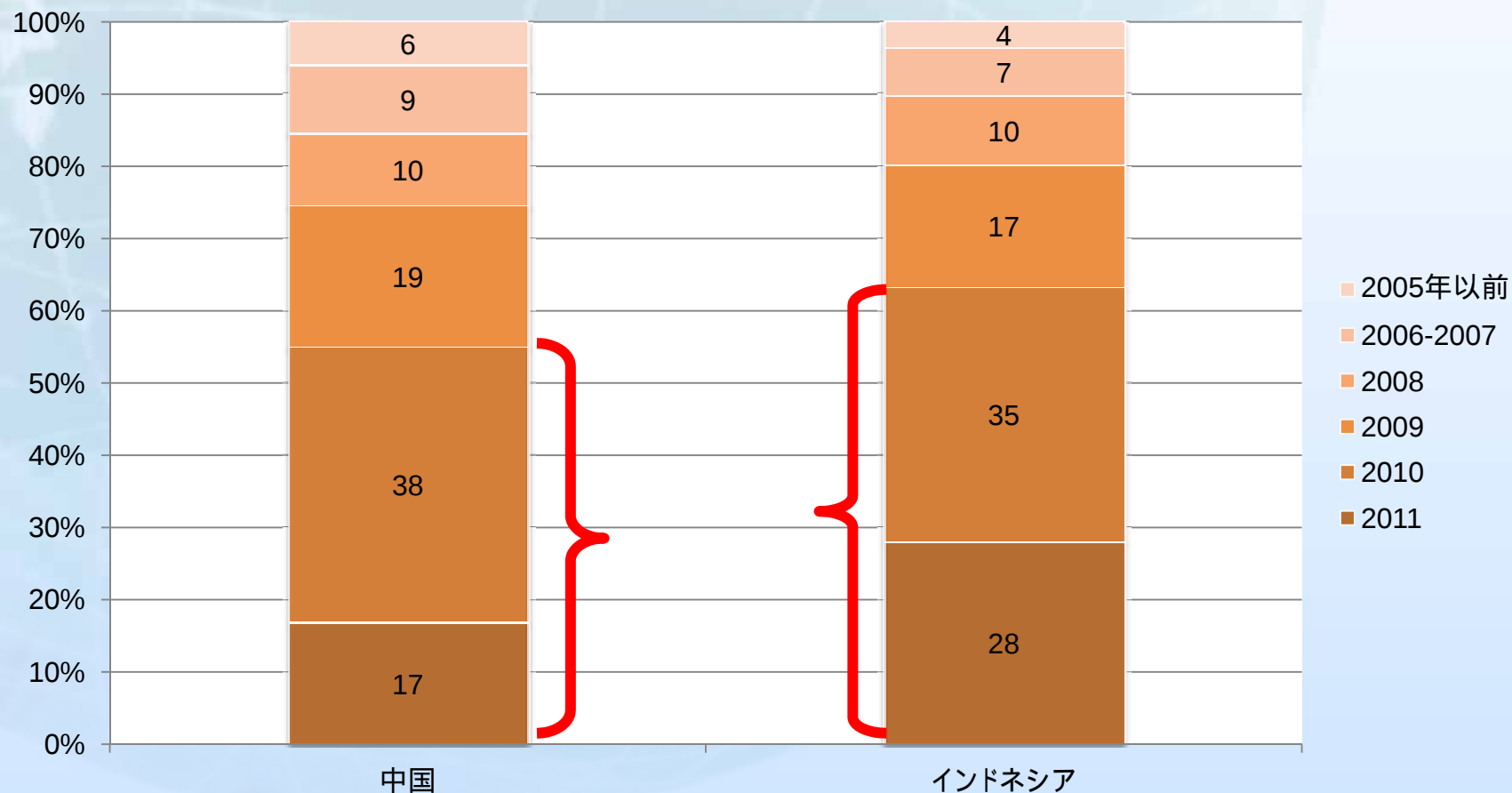
調査期間: 2011年9月26日～28日

調査実施主体: 合同会社サーベイマイ

スマホ使用開始時期

中国では5割超、インドネシアでは6割超が
最近2年以内の購入者。

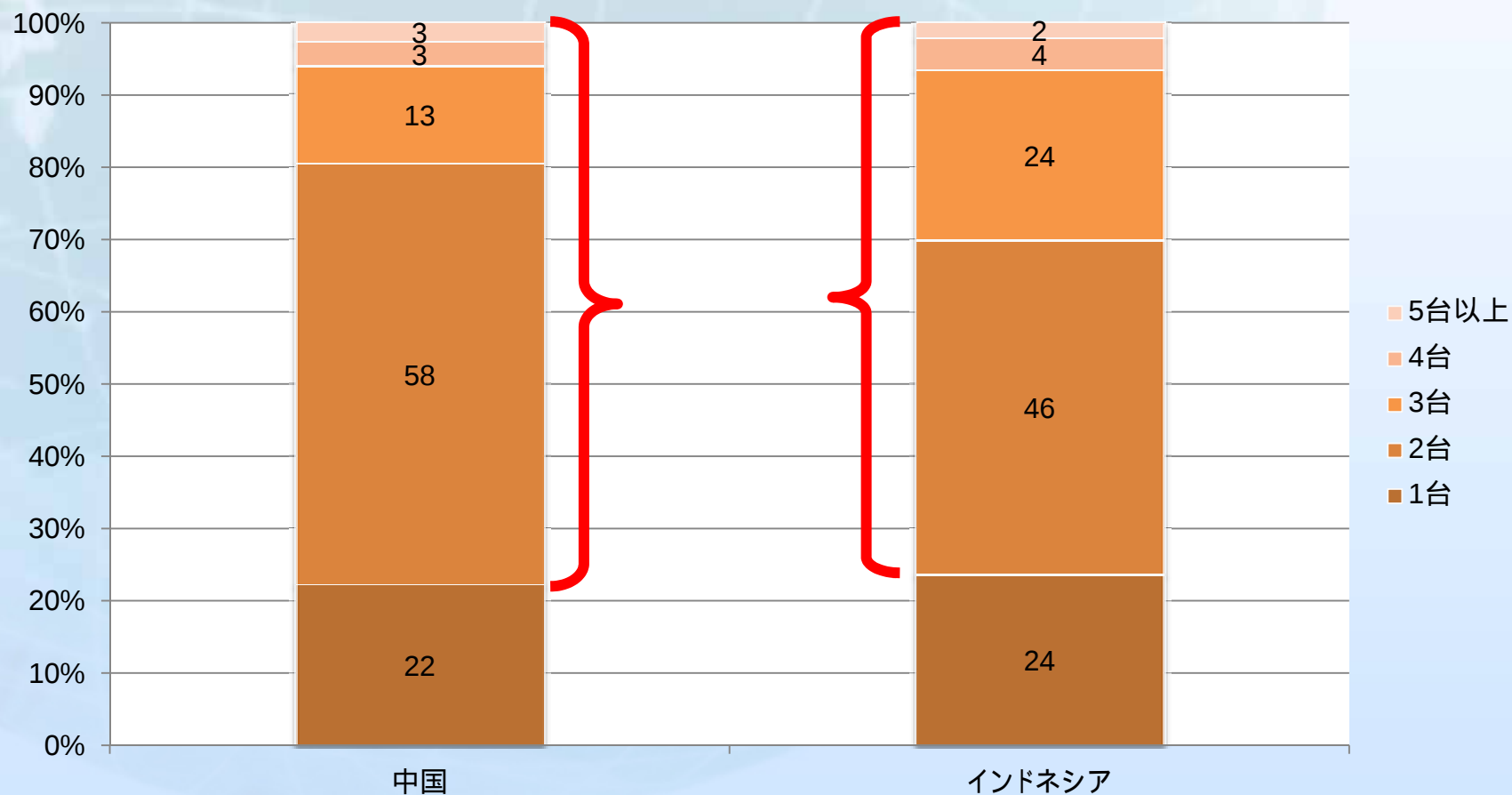
Q あなたはいつからスマートフォンを使っていますか。(SA)



携帯電話保有台数

両国とも8割近くが複数台保有。

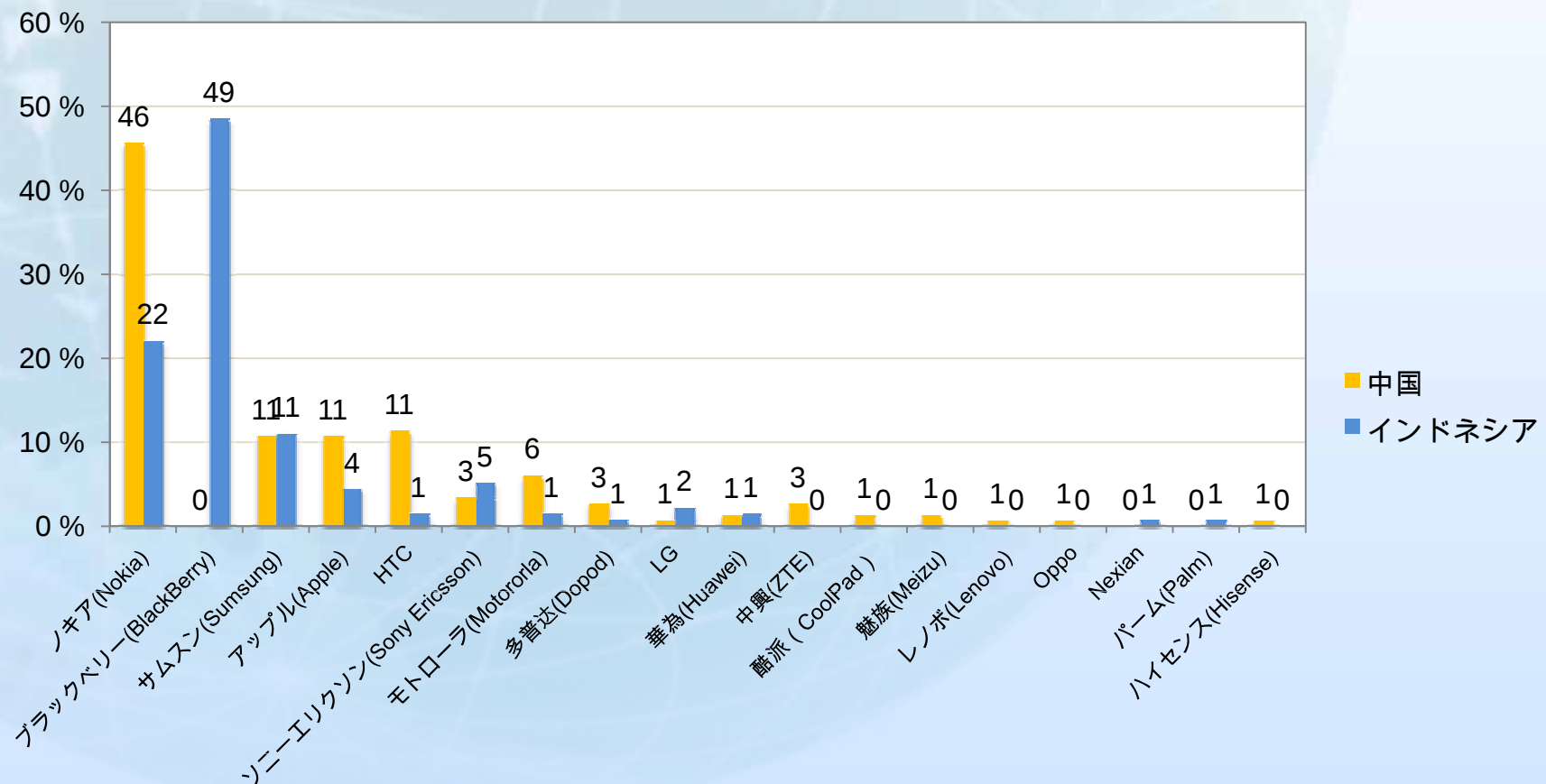
Q あなたはスマートフォンを含めて何台携帯電話を保有していますか。(SA)



保有スマホブランド

中国ではノキア、インドネシアではブラックベリーの保有者が約半数。

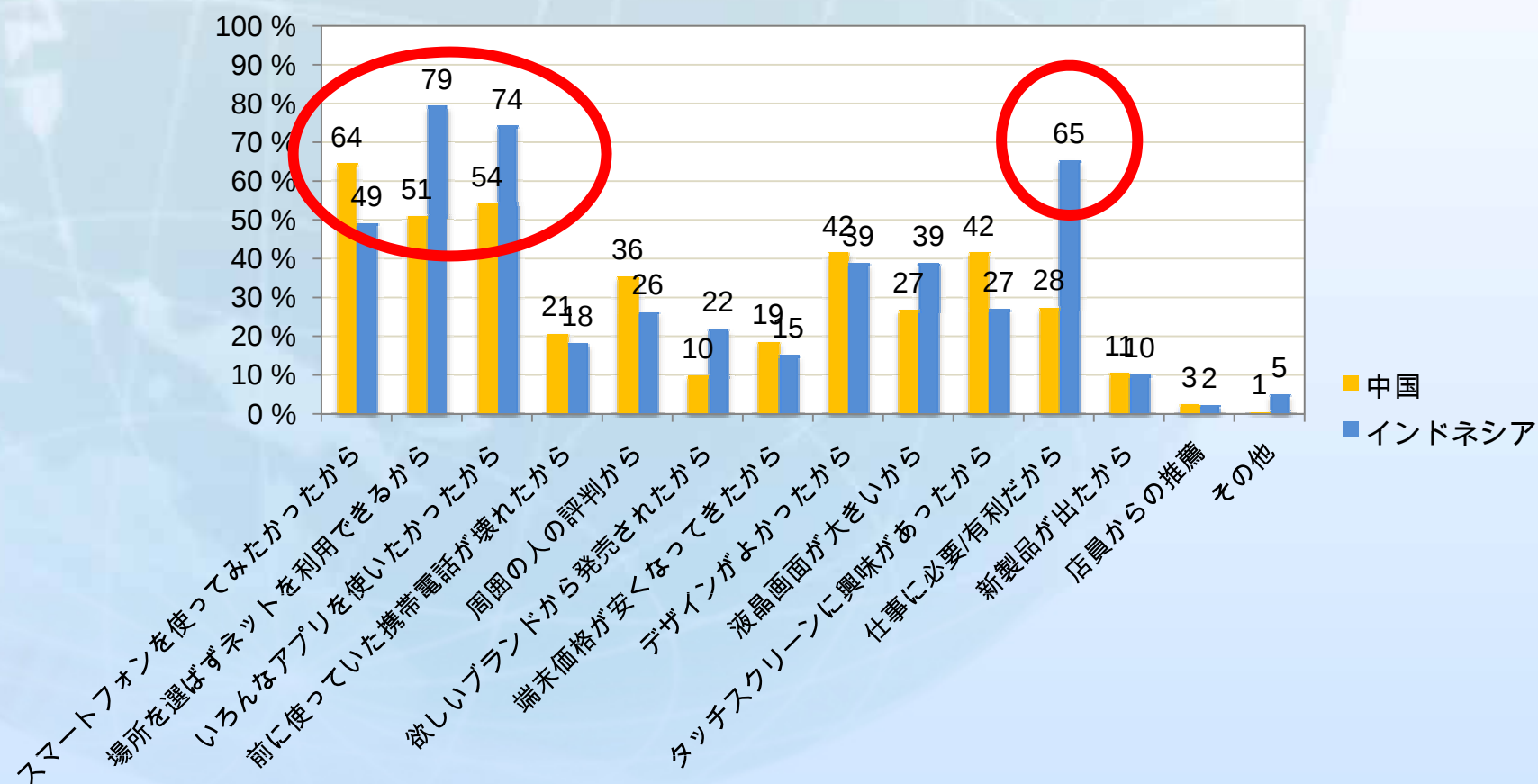
Q あなたが保有しているスマートフォンのブランド・モデル及びキャリアをお答えください。(OA AC)



スマホ購入理由

両国とも、場所を選ばずネット利用したい」や「使ってみたい」という理由で購入。
中国と比べ、インドネシアでは「仕事に必要」が高い。

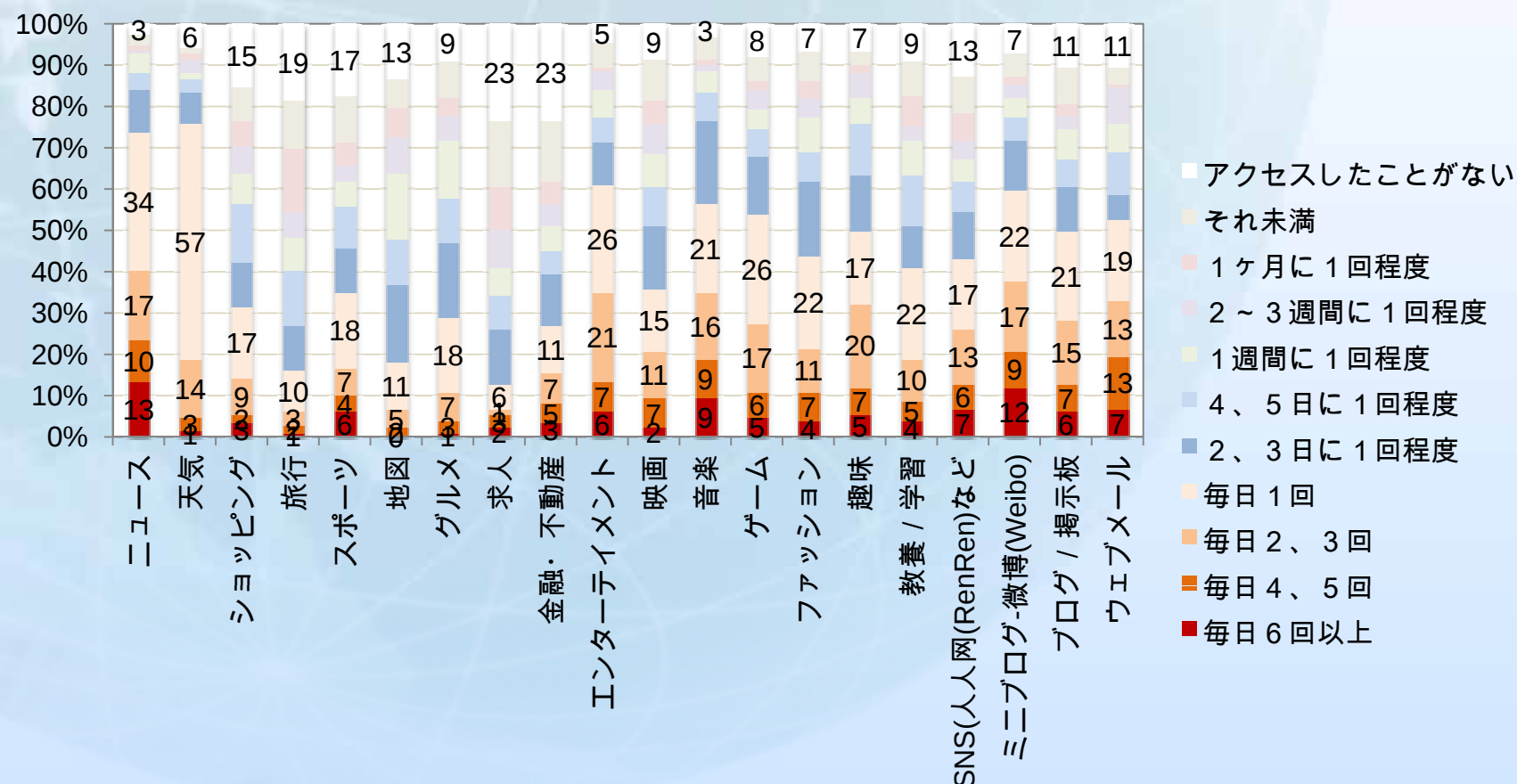
Q あなたがスマートフォンの購入するきっかけについて当てはまるものすべてお答えください。(MA)



利用コンテンツ(中国)

1日1回以上利用する人が多いコンテンツは、ニュースや天気、エンタメ、音楽など。

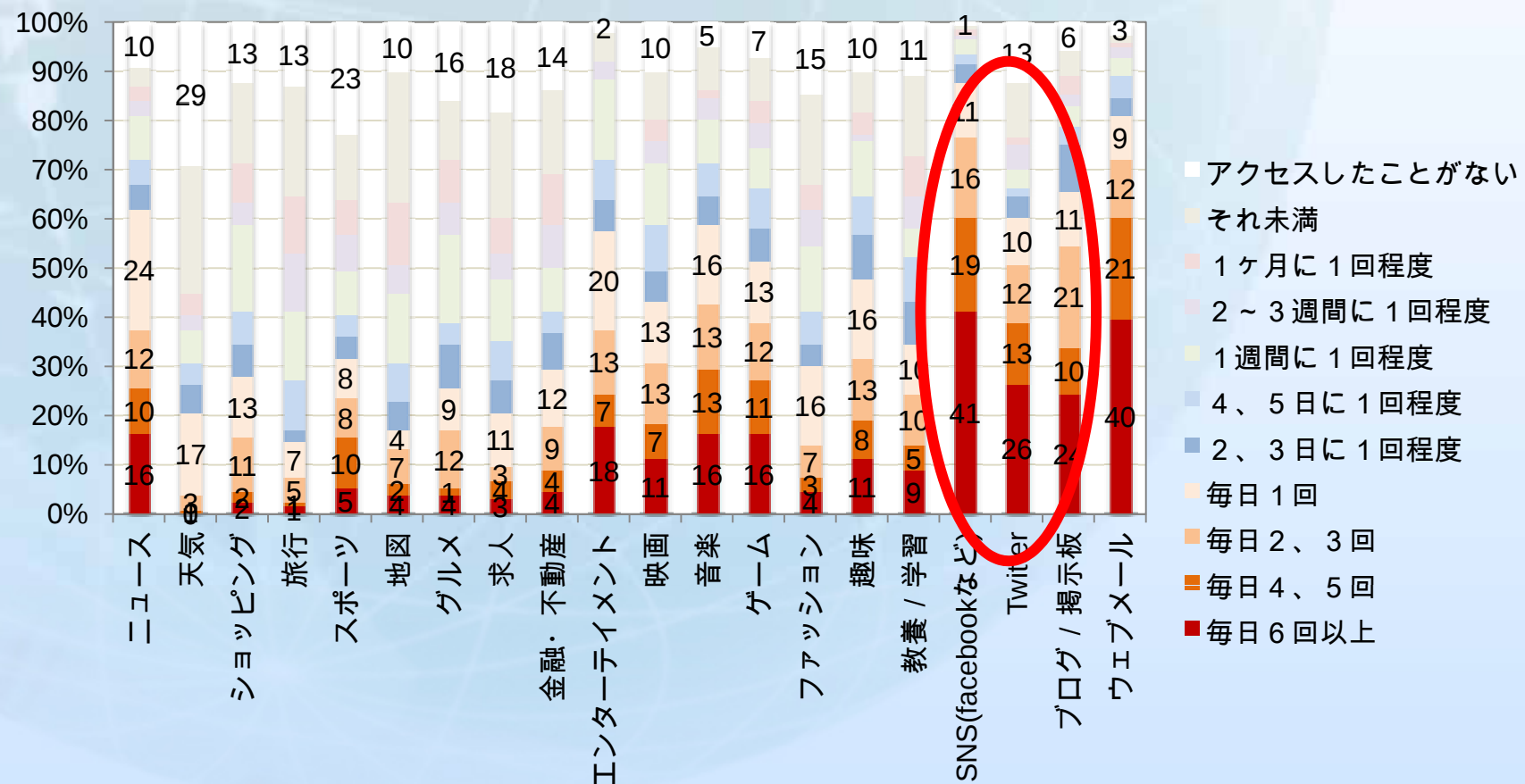
Q あなたがスマートフォンで見ているコンテンツについての頻度をそれぞれお答えください。(各SA)



利用コンテンツ(インドネシア)

中国と比べ、ソーシャルコンテンツの利用頻度が高い傾向。

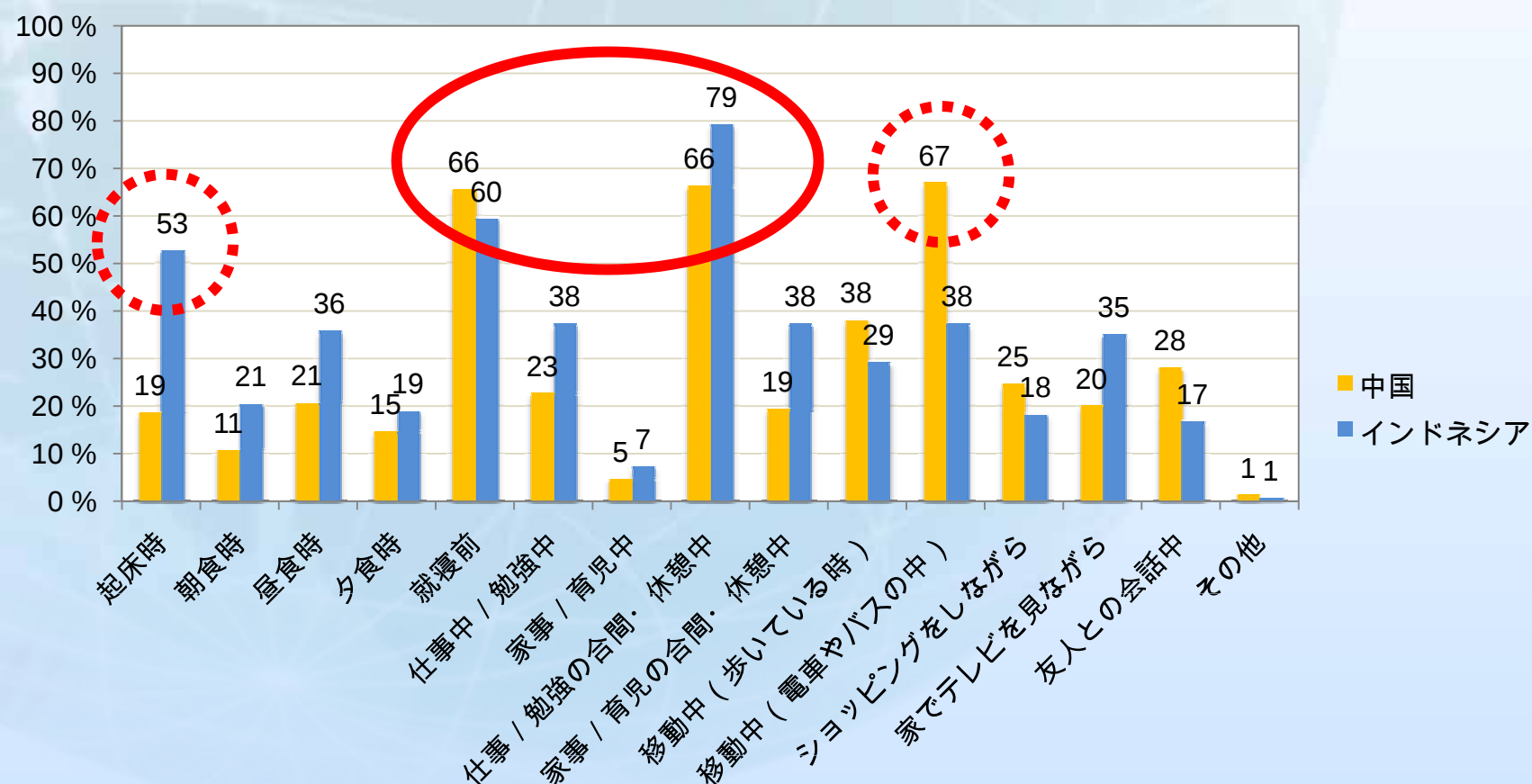
Q あなたがスマートフォンで見ているコンテンツについての頻度をそれぞれお答えください。(各SA)



スマホでのネット利用時間帯

「スキマ時間」「就寝前」の利用率が高い。
中国では「移動中」、インドネシアは「起床時」が特徴的。

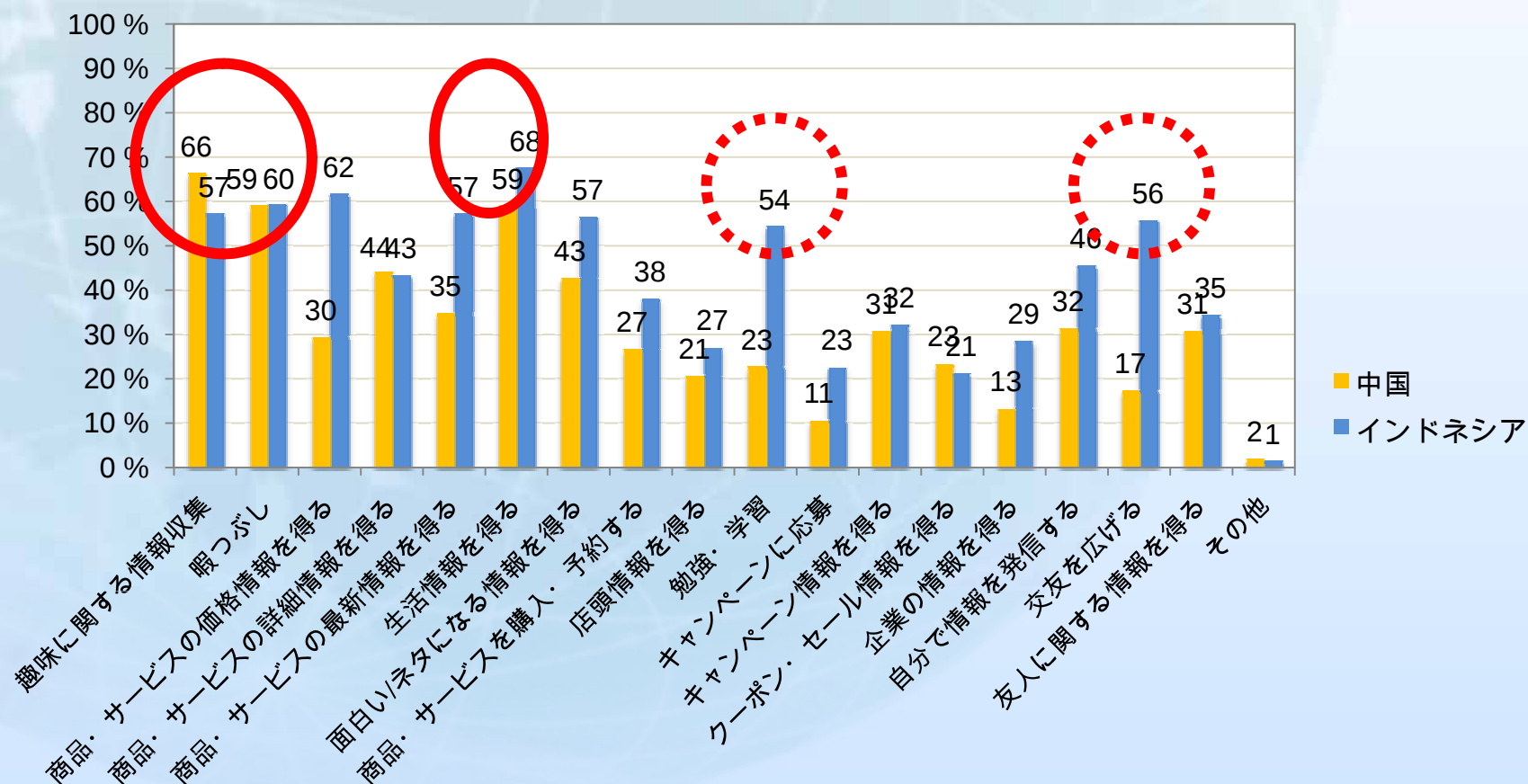
Q あなたはスマートフォンを使ってどの時間にインターネットに接続していますか。(MA)



スマホでのネット利用目的

共通して「趣味」や「生活情報」収集、「暇つぶし」が多い。
インドネシアでは、「勉強」や「交友」など用途が広い。

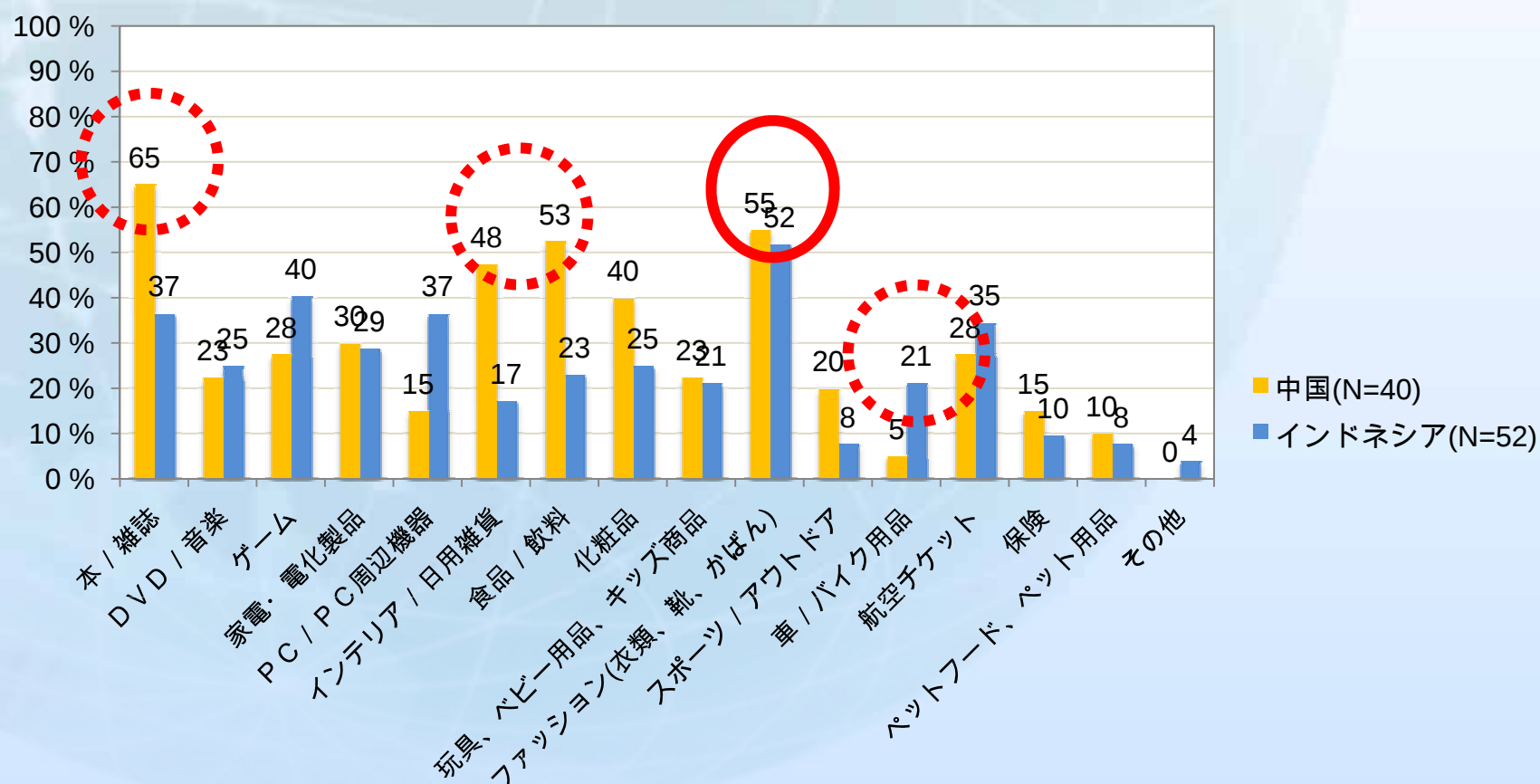
Q あなたはスマートフォンでどのような目的でインターネットに接続しますか。(MA)



スマホでの購入商品

ファッション商品がどちらの国でも購入経験が高い。
中国の方がより日常的な品目が多い一方、インドネシアではバイク用品が多い。

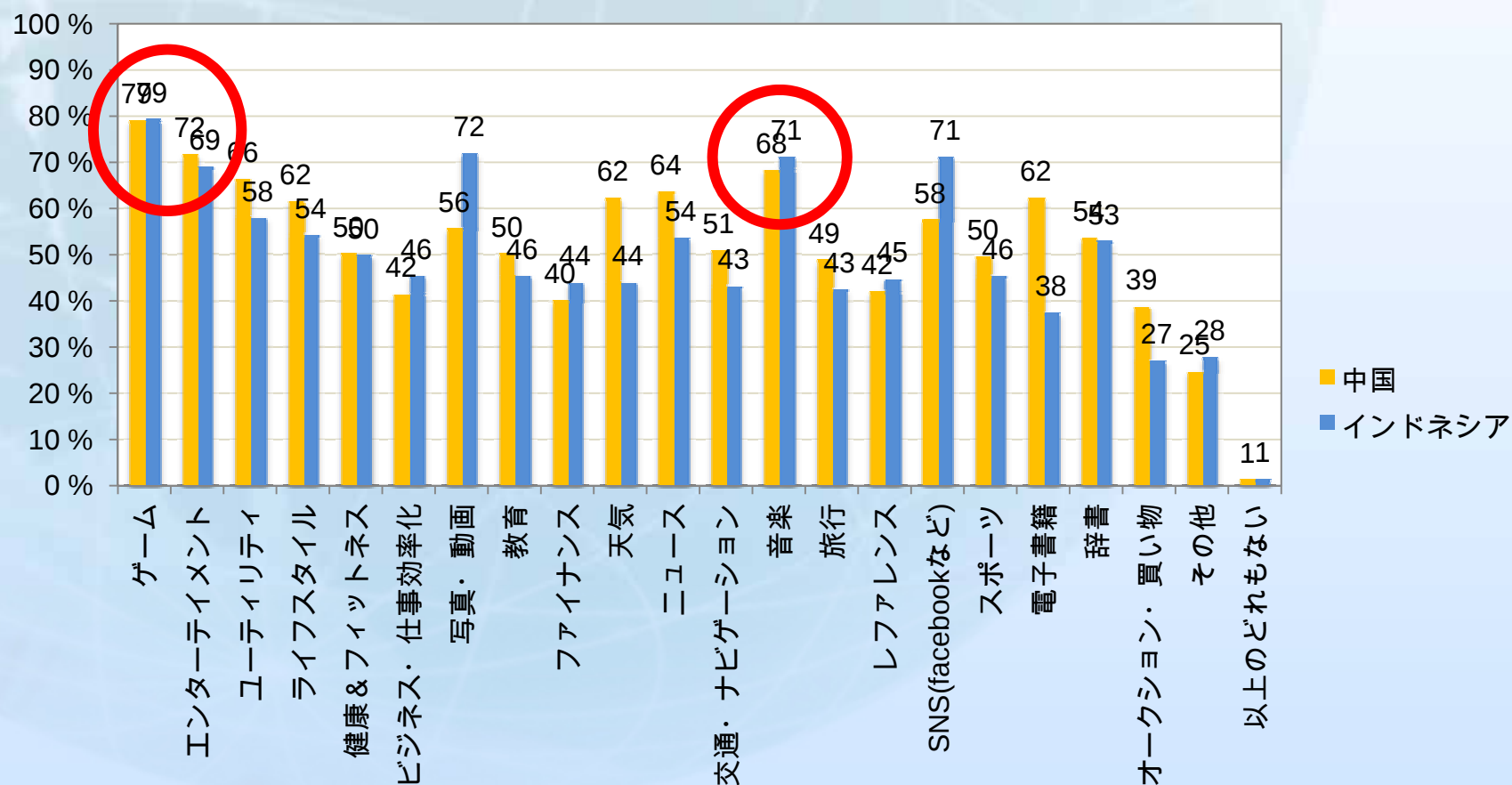
Q あなたはスマートフォンでどのような商品・サービスを購入したことがありますか。(MA)



スマホでの利用アプリ(無料)

無料アプリの利用率は高い。
特に「ゲーム」、「エンタメ」、「音楽」。

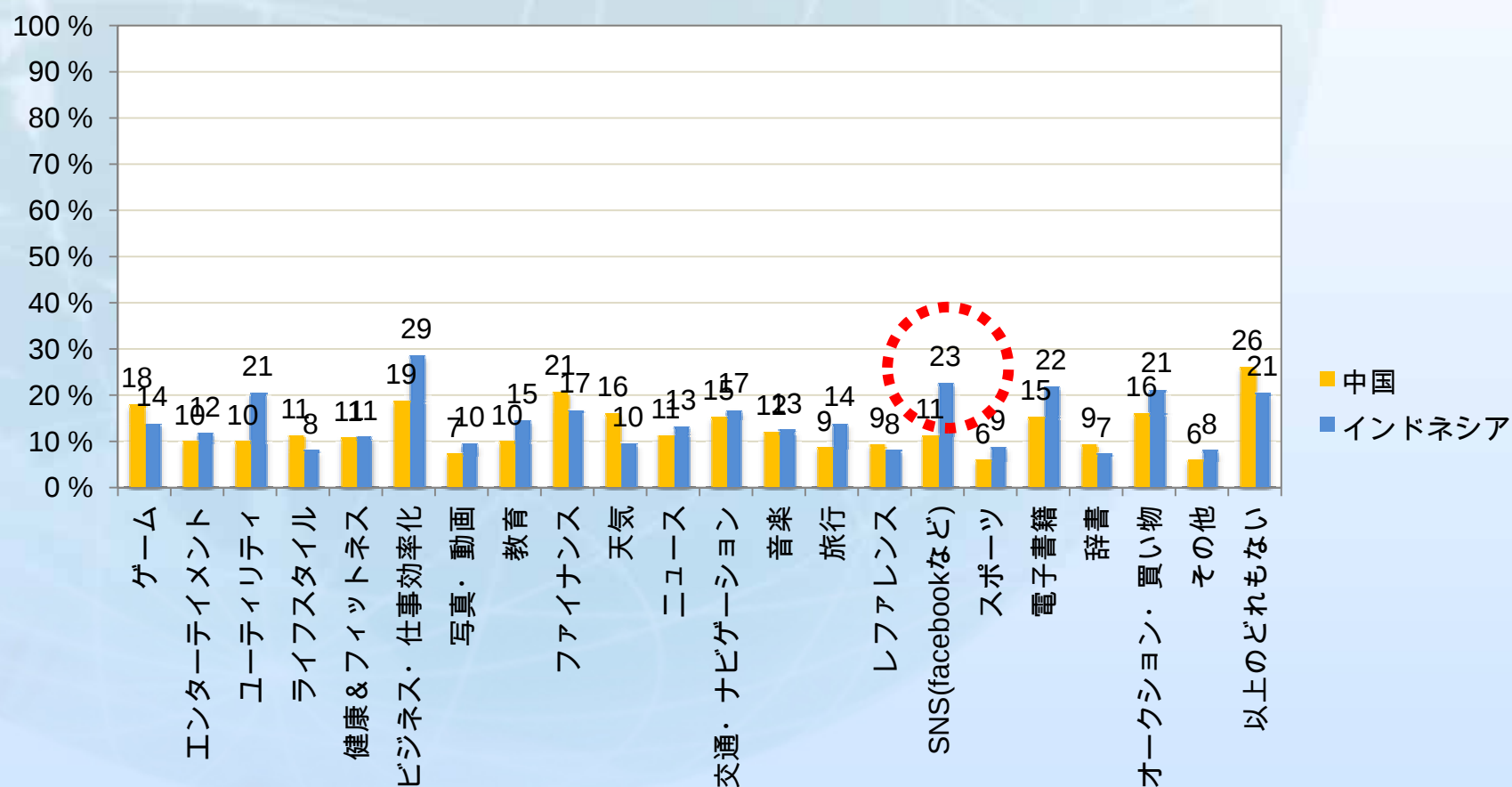
Q あなたはスマートフォンでどのようなアプリを利用していますか。 - 無料で (MA)



スマホでの利用アプリ(有料)

無料版と比べると、有料アプリに利用率は低い。
インドネシアでは「SNS」、「ビジネス」アプリの利用率が高い。

Q あなたはスマートフォンでどのようなアプリを利用していますか。 - 有料で (MA)



最も使っているアプリ

中国ではメッセージャー、インドネシアではFacebookが多い

Q あなたは其中最も使っているアプリは何ですか。(OA)

中国

UCブラウザ 電子書籍
ニュース ゲーム 天気 メール
教育 QQ (メッセージャー)
音楽 投資
淘宝 地図 微博 (ミニブログ) ショッピング
エンターテイメント Feition (ショートメッセージ)
大知恵 (ファイナンス)

インドネシア

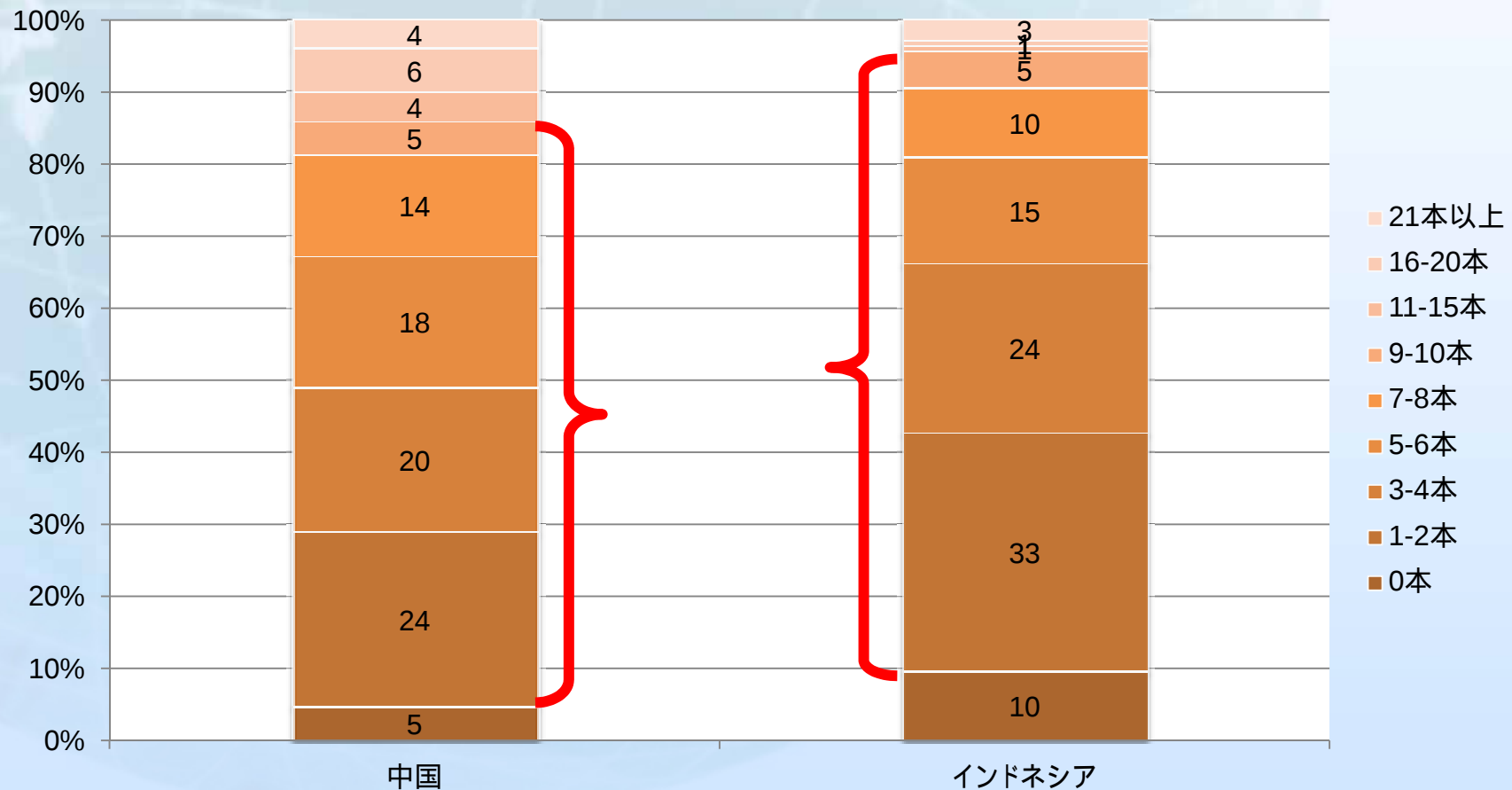
音楽 SNS 地図
スポーツ ニュース 教育
Facebook オペラミニ
メール ゲーム メッセージャー
(ブラックベリー、ヤフーなど)
画像 twitter
動画 エンターテイメント ファイナンス

対象国ごとに回答数が多いほどフォントが大きくなっております。

スマホアプリDL数(無料)

8割前後が1 - 10本程度の無料アプリをDLしている。

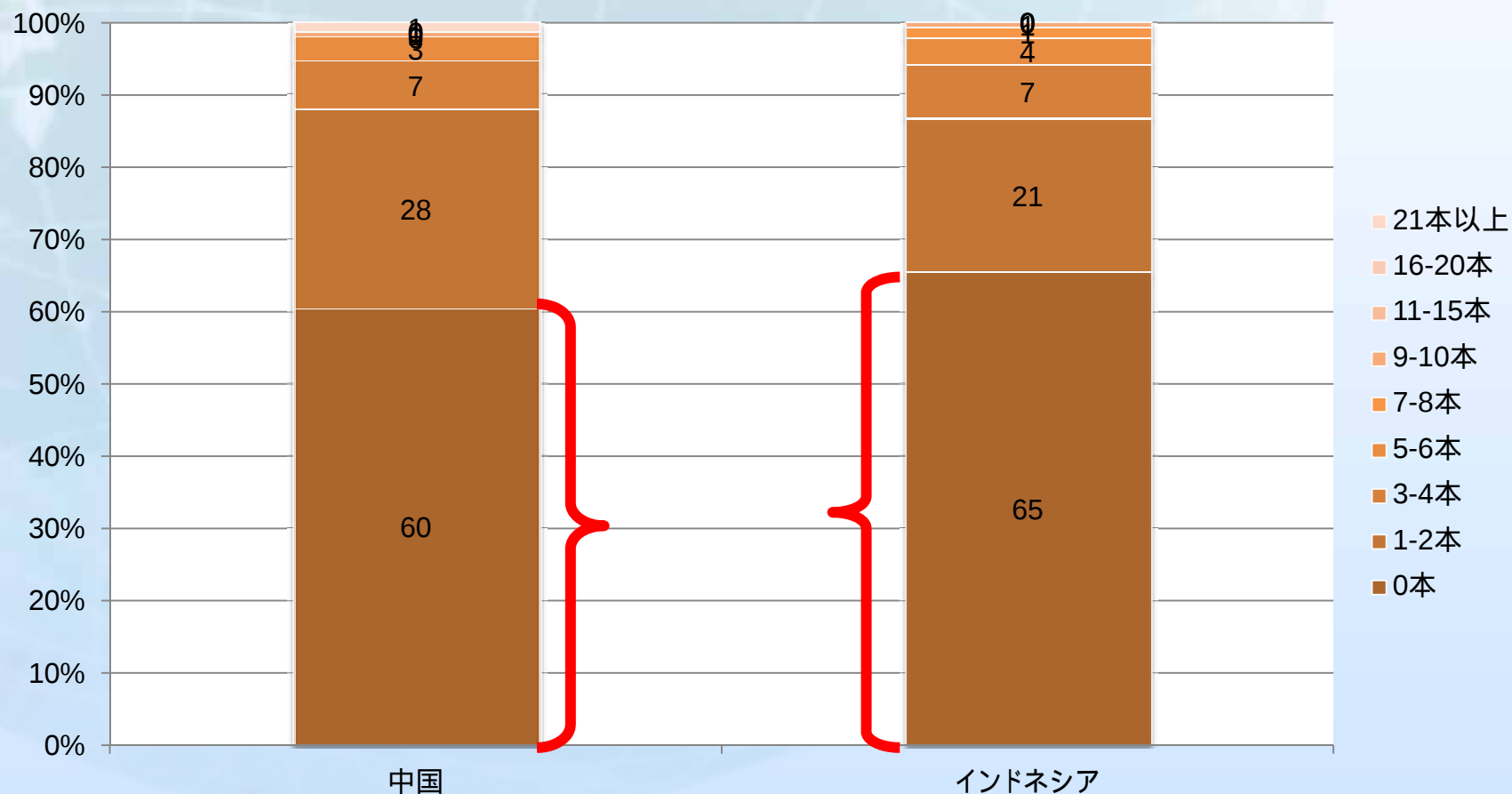
Q 先月に何本スマートフォンのアプリケーションをダウンロードしていますか。(SA)



スマホアプリDL数(有料)

6割以上が有料アプリDL数「0」

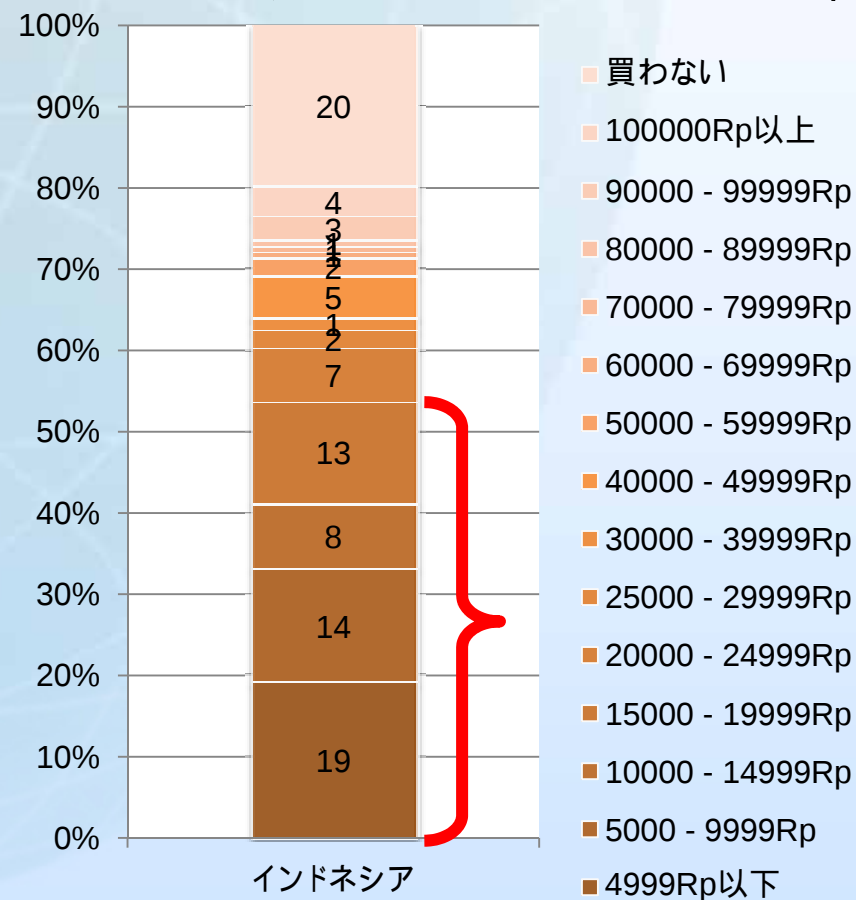
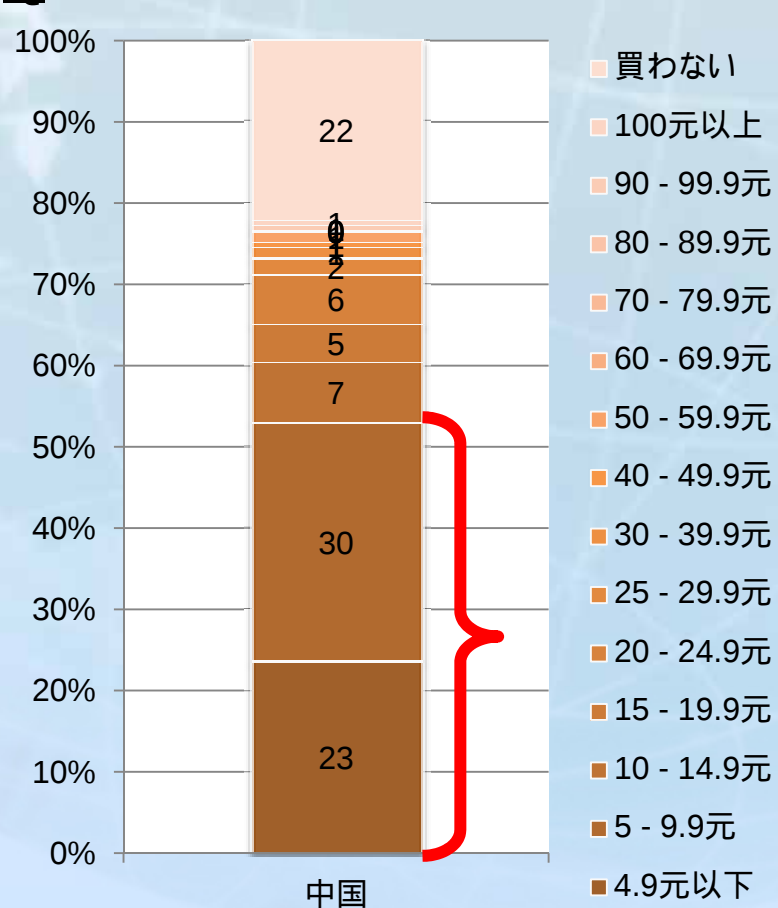
Q 先月に何本スマートフォンのアプリケーションをダウンロードしていますか。(SA)



スマホアプリ購入受容金額

10元(約120円) / 20000Rp(約170円) 未満が5割。

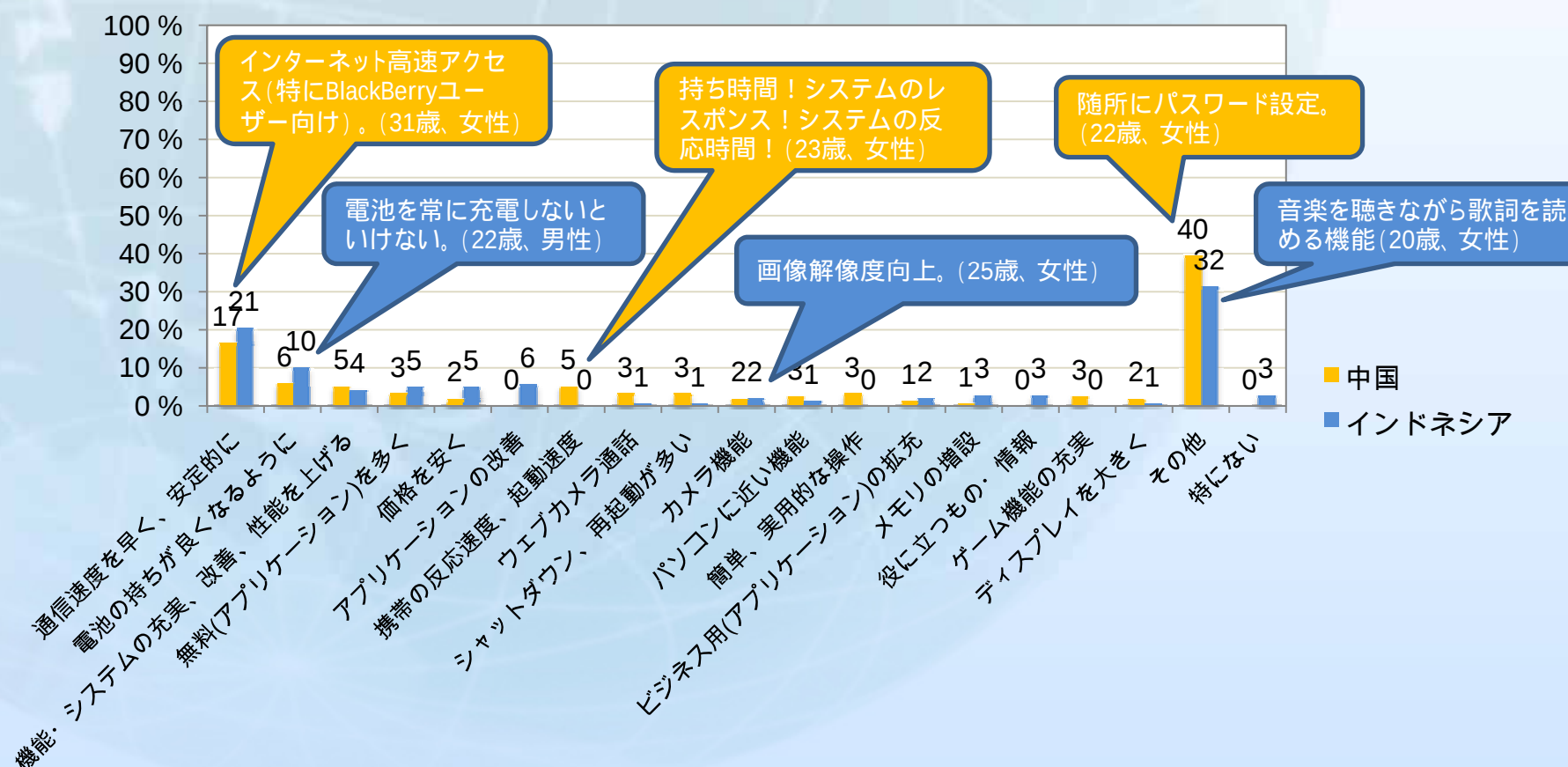
Q あなたが欲しいスマートフォンのアプリケーションがあるとした場合、いくらまで支払ってもいいですか。(SA)



スマートフォンの改善点

通信速度と電池の持続時間を改善点に挙げている人が多い。

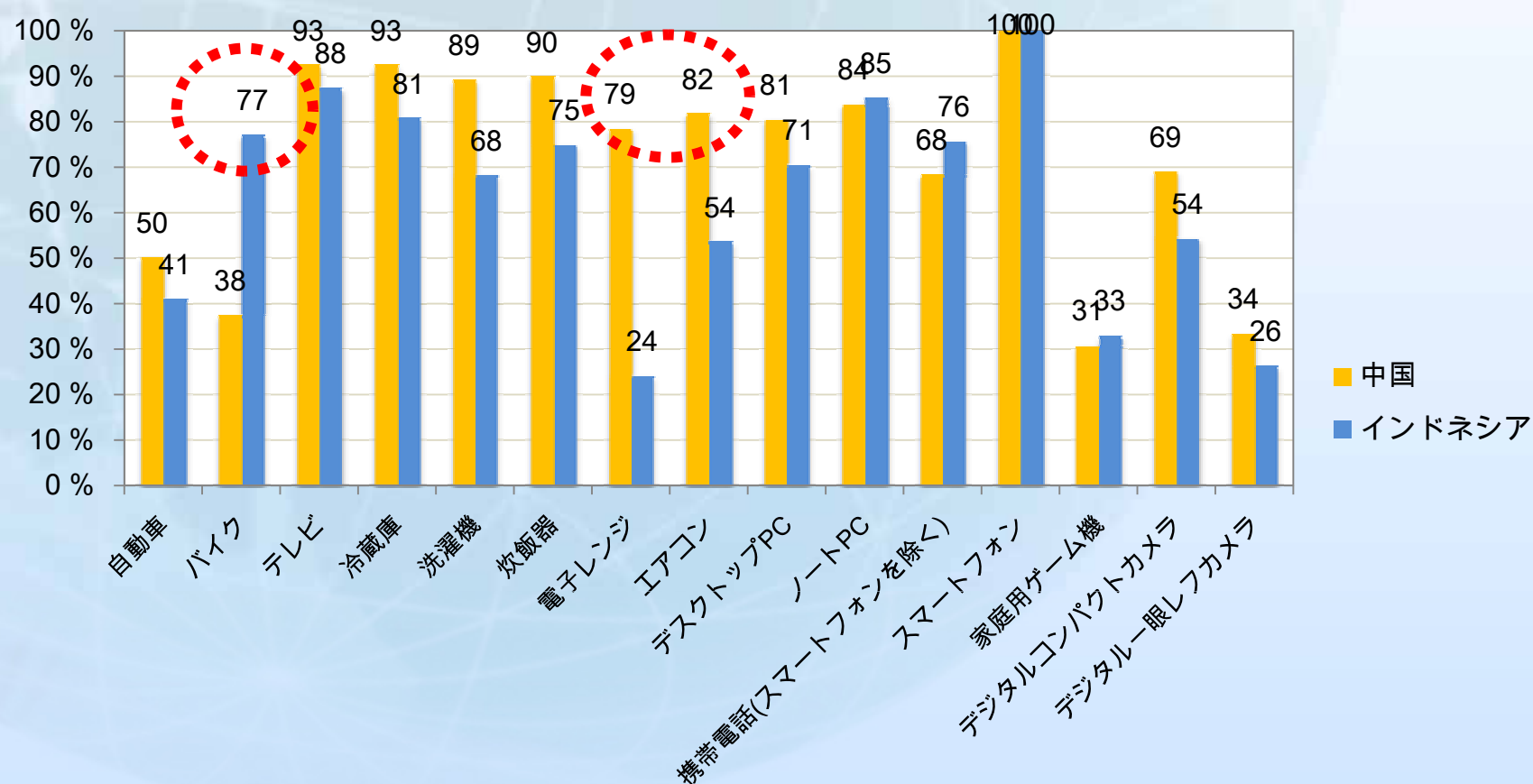
Q スマートフォンについて欲しいと思う機能や改善してほしいものなどをご自由に記入してください。(OA AC)



参考) 保有商品

「電子レンジ」、「エアコン」はじめ家電は中国の保有率が高い。
逆に「バイク」の保有率はインドネシアで高い。

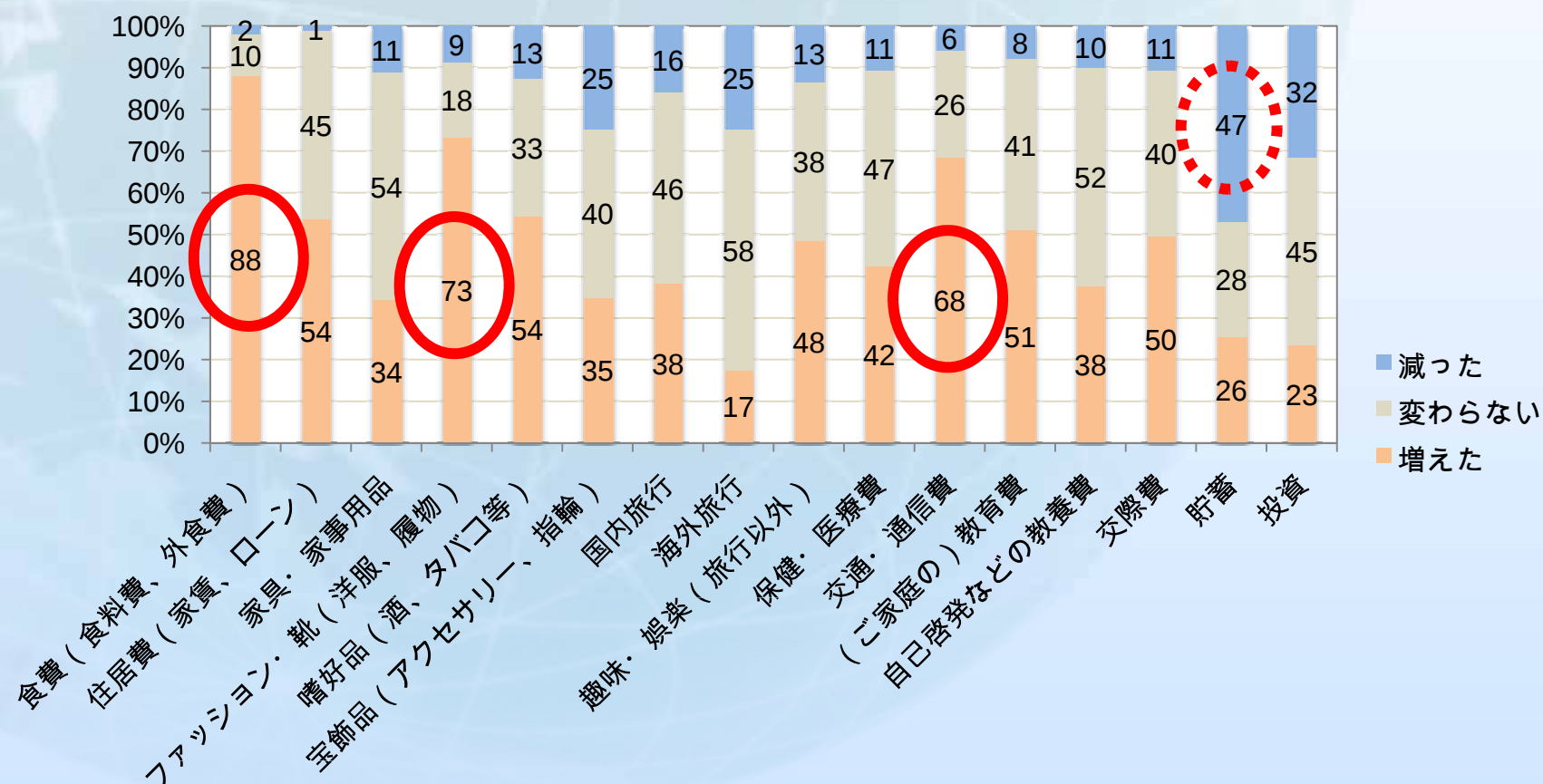
Q 以下の商品カテゴリーの中で、あなた自身が現在所有している物をお答えください。(MA)



支出増減(中国)

「食費」、「衣料費」、「交通・通信費」が増加している人が多く、一方で「貯蓄」に回す金額は減少している人が多い。

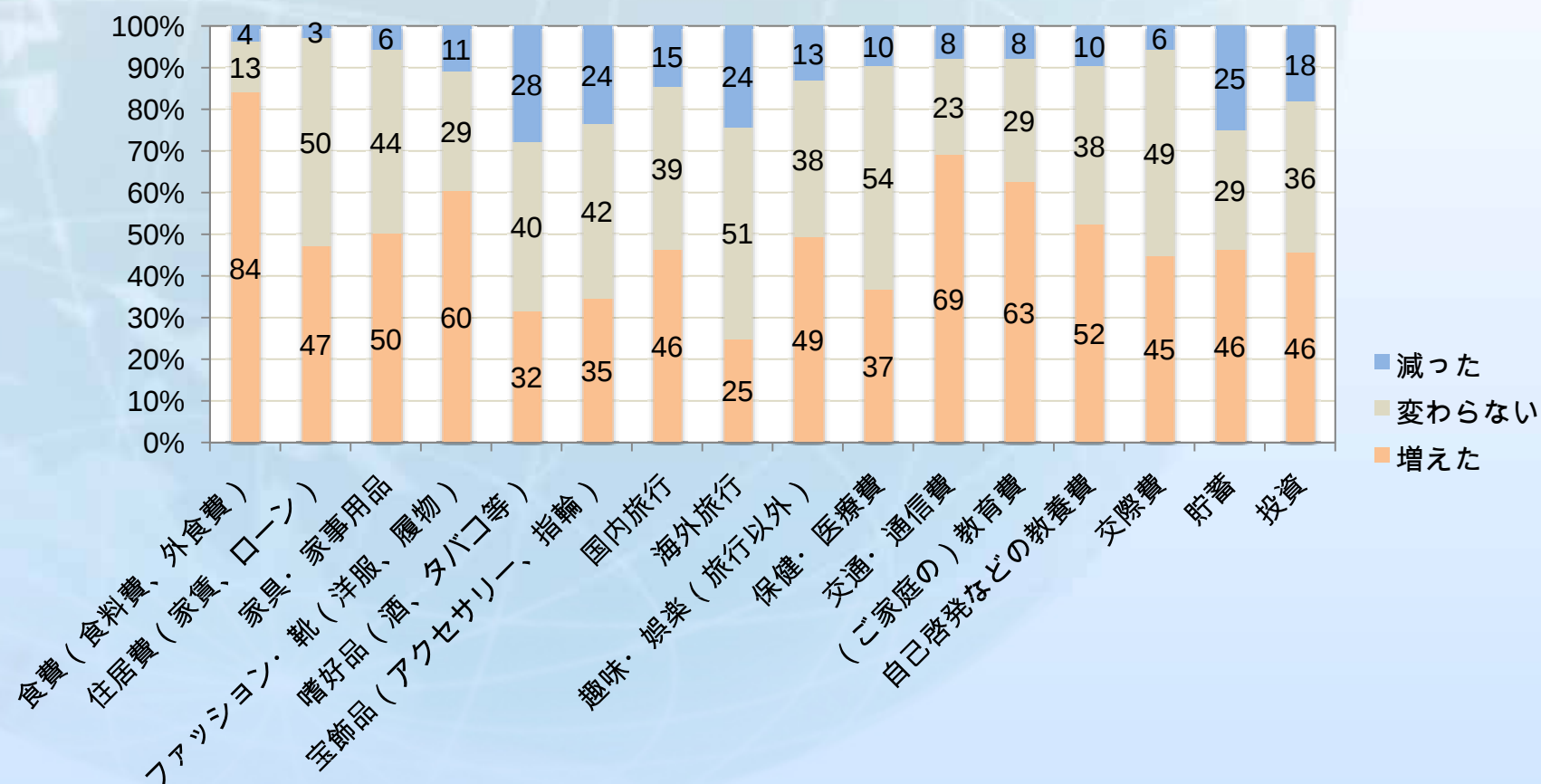
Q 次にあげる費用のうち、昨年と比べ支出の増減についてお答えください。(各SA)



支出増減(インドネシア)

全般的に支出が増加している項目が多い。

Q 次にあげる費用のうち、昨年と比べ支出の増減についてお答えください。(各SA)

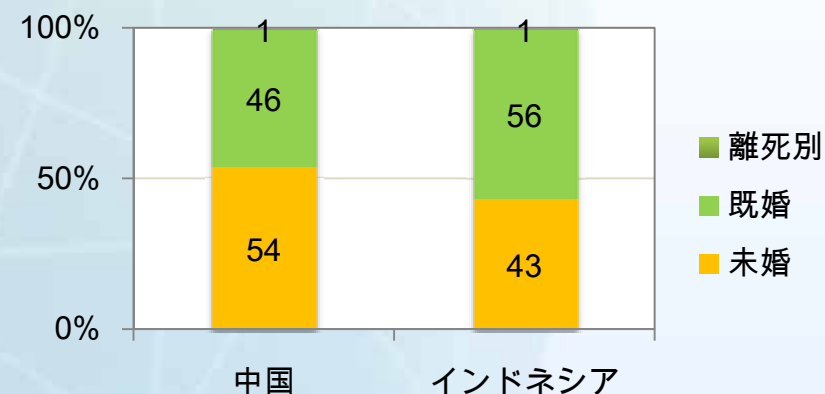


参考) 属性情報: 性、年代、未既婚

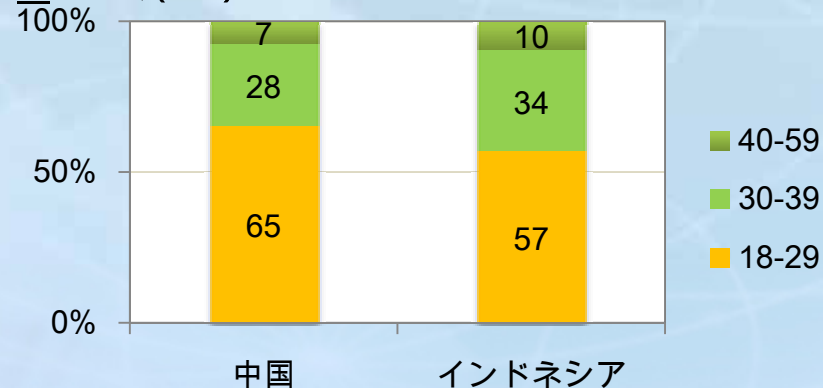
F 性別(SA)



F 未既婚(SA)



F 年齢(SA)



参考) 属性情報: 月収(中国)

F 世帯、個人月収(各SA)



参考) 属性情報: 月収(インドネシア)

F 世帯、個人月収(各SA)

